

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことを、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の結果を受け、本校の分析がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、今回の調査結果を踏まえ、児童の学力向上に向けた改善プランを作成し、教育課程や日常の授業改善に取り組んでまいります。

～教科に関する調査結果～

【国語】 全国の平均正答数と比較してほぼ同様の結果でした。

①学習指導要領の内容別の結果から

(1)【言葉の特徴や使い方に関する事項】 全国平均と比べてやや低い結果となりましたが、「同音異義語」の混同が見られた可能性があります。「あつい日」

(2)【情報の扱いに関する事項】 話し合いの内容を整理し、情報のつながりを図や言葉で的確に捉える力が育っていることがわかります。

(3)【我が国の言語文化に関する事項】 全国平均とほぼ同水準の結果であり、本校児童も「言葉の移り変わり」や「世代間の言葉の違い」に対する理解がしっかり育っていることがうかがえます。

C【読むこと】 この領域では、文章や資料を読み取り、内容の理解や情報の整理、要旨の把握、図表との関連付けなど、総合的な読解力が着実に育っていることがうかがえます。

問題番号【1】の1(一)

A【話すこと・聞くこと】

= 正答率の低かった問題 =

【話し合いの様子】を題材にした問題が出題されました。児童は、登場人物の発言（小森さんの傍線部）について、その意味や意図を正しく理解し、説明として適切な選択肢を選ぶ力が問われました。

(問題) 小森さんは、インタビューをどのように進めようと考えて、 部の発言をしましたか。

- 複数の質問のちがいを明確に聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。
- 複数の質問のちがいを明確にして聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。
- 複数の質問を関連づけて聞くことで、相手が答えやすい内容を選ぶようにしている。

【正答】4

複数の質問を関連づけて聞くことで、聞きたいことを相手から引き出そうとしている。

小森さん	清川さん	町田さん	清川さん	小森さん	町田さん	清川さん	小森さん
ふうにまとめたよ。この進め方でいいかな。	うん、そうしよう。ここまでの話し合いの記録をこんな	ぼくもそう思うな。大切にしていてやることとやりがいについて、働くことについて考えるためにもぜひ聞きたいね。	きつと仕事にやりがいがあるからだよ。	バス運転士は、楽しそうだなと思っていただけ、大変なこともありそうだね。大変なことがあっても仕事を続けている理由も聞きたいな。	確かに、大変そうだね。「仕事で大切にしていること」で話してくれたことをきっかけにして、「仕事で大切なこと」を聞くことができるかもしれないよ。	安全を考えながら時間を守るのは、大変そうだね。	質問することを整理するために、話し合ったことを記録するね。私は、運転士さんがどんなことを大切にして働いているかを聞きたいな。きつと、乗客の安全を大切にしていると思うな。

B [書くこと] = よくできていた問題 =

【ちらし】に書かれた二重傍線部について、【調べたこと】をもとに詳しく書く問題が出題されました。児童は、簡単な表現をより具体的に、わかりやすく書き直す力が問われました。

(問題) 山田さんは、【ちらし】の書き表し方について友達に相談し、【チラシ】の _____ 部をくわしく書いたほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あたなが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

【ちらし】

手ぬぐい



手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。

季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。

しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手の ア のみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉	〈使ってみて分かったこと〉
○ブックカバー ・何回か折るだけで、すぐに完成する。 ・本の大きさに合わせて包むことができる。 ○ペットボトルカバー ・ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。	○ブックカバー ・よごれがつくのを防ぐことができます。 ・落としたときに、本がきずつかなかった。 ○ペットボトルカバー ・水てきが荷物につかなくてよかった。 ・温かい飲み物が冷めにくかった。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。みなさんもぜひ使ってみてください。

〈条件〉

○【ちらし】の _____ 部を書き直し、くわしくすること。

○【調べたこと】の〈本を読んで分かったこと〉と〈使ってみて分かったこと〉のそれぞれから言葉や文を取り上げて書くこと。

○六十文字以上の、百字以内にまとめて書くこと。

【解答例】何回か折って本を包むと、ブックカバーになり、よごれがつくのを防ぐことができます。また、ペットボトルを包んで持ち運ぶこともでき、水てきが荷物につくのを防ぐことができます。(84 字)

授業改善のポイント

- ◆説明文や物語文を読むときには、文章全体を捉える読ませ方を指導する。
- ◆国語の時間に限らず、意図的に「書く」活動を取り入れ、「十分な時間」を確保する。
- ◆書くときには「目的をはっきりさせる」「(書く) 時間・字数・条件」を必ず設定して書かせる。
- ◆対話を重視した授業づくりを意識し、すべての子どもが自らの考えと他者の考えを比べ、どこが同じか、何が違うのか、足りない部分はあるかなど交流する活動を取り入れます。

〔算数〕 全国の平均正答数と比較して同様の結果でした。

①学習指導要領の内容別の結果から

A 〔式と計算〕 全国水準に近い成果がみられました。与えられた資料を正しく読み取り、必要な情報を見極めて式を立てる問題の正答率が高い結果となりました。児童が、情報を整理し、数量の関係を論理的に捉える力を身につけていることがうかがえます。

〔図形〕 = よくできていた問題 =

要素（辺・角）を論理的に捉え、図形を変形・延長した際の角度の変化を正しく理解していることを示しています。

問題番号 [2] の (3)

【正答】 ウ

(3) わかなさんは、図1の㊸の角と図2の㊹の角の大きさを比べています。

図2の㊹の角をつくっている2つの辺は、図1の㊸の角の2つの辺をそれぞれのばしたものです。

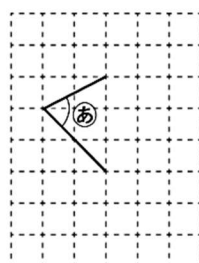


図1

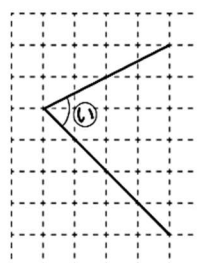


図2

㊸の角と㊹の角の大きさについて、どのようなことがわかりますか。

下の ア から エ までのの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア ㊸の角の大きさのほうが大きい。

イ ㊹の角の大きさのほうが大きい。

ウ ㊸の角と㊹の角の大きさは等しい。

エ ㊸の角と㊹の角の大きさがわからないので、このままでは比べることができない。

C 〔変化と関係〕 この領域では、数量の変化や割合の関係を捉え、必要な情報を選んだり、式や言葉で説明したりする力が求められます。例えば、新品のハンドソープが何回使えるかを考える問題では、必要な情報を見抜く力が育っていることがうかがえます。一方で、使いかけのハンドソープについて、求め方を記述する問題では、全国を下回りました。数量の関係を言葉や式で説明する力には、今後の育成の余地があります。→ C〔測定〕

D 〔データの活用〕 特に、棒グラフや表から情報を読み取り、条件に合った項目を選ぶ問題では、全国平均を大きく上回る正答率でした。これは、児童が視覚的な情報を正しく読み取り、比較・判断する力を身につけていることの表れです。一方で、グラフを選び、出荷量の増減を説明する記述式の問題では、全国と同程度でした。また、数量の関係を記述する問題では、正答率が全国平均を下回る結果となりました。

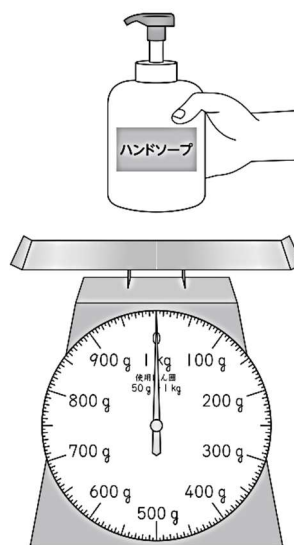
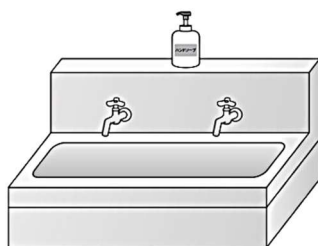
問題番号4の(2)

C [測定] = 正答率の低かった問題 =

この問題では、ハンドソープの残量と1回の使用量という「伴って変わる二つの数量」に着目し、それらの関係をもとに「あと何回使えるか」を求める必要があります。児童には、数量の関係を式や言葉で説明する力が求められましたが、そこに課題が見られます。

(2) 学校の手洗い場に、別の容器に入っている使いかけのハンドソープがあります。

次に、あさひさんたちは、そのハンドソープを空になるまで使うとしたら、あと何プッシュすることができるのかを考えています。



あさひ

新品だったらハンドソープの液体が何 mL 入っているのかは、はっきりわかるけれど、使いかけのハンドソープの液体が何 mL 入っているのかは、すぐにはわかりません。



かんな

ハンドソープの液体の重さをはかって調べられないでしょうか。

このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは 270 g でした。

使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、270 g の他に何がわかればよいですか。

下の ア から エ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。

また、その2つと 270 g を使って、あと何プッシュすることができるのか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。

- | | | |
|---|---------------------|-------|
| ア | 新品のハンドソープの重さ | 360 g |
| イ | ハンドソープの容器の重さ | 60 g |
| ウ | 1プッシュ分のハンドソープの液体の重さ | 3 g |
| エ | かんなさんが1日に手を洗う回数の平均 | 7回 |

【正答番号】イ、ウ

【解答例】

使いかけのハンドソープの液体の重さは、 $270 - 60 = 260$ で、260 g です。あと何回プッシュできるかは、 $260 \div 3 = 86$ で求めることができます。

授業改善のポイント

- ◆基礎・基本を確実に定着させるために、ノートのマス目の使い方や位を意識した書き方を指導する。1マスに1けた書くことを基本としています。
- ◆算数で学習したことを使って、日常生活の問題を解決する力を育てるために、考え方や計算の処理の仕方を学習した言葉を使って「説明」する活動を授業に位置付ける。
- ◆筋道を立てて「説明」したり、図に表したりするなど「書く」活動を取り入れ、自身の考え方を確認したり、他者の考え方と比べたりする活動を授業に位置付ける。

〔理科〕 全国の平均正答数と比較して相当高い結果でした。

①学習指導要領の内容別の結果から

〔エネルギーを柱とする〕ここでの問題では、ベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるためにコイルの巻数をどう変えるかを問われました。児童は、電磁石の強さが巻数によって変わること理解し、正しく答えることができました。

〔粒子を柱とする〕特に、水の温まり方に関する問題では、問題のまとめを導くために、どのようなことを調べる必要があるかを問われました。児童は、実験の目的に応じて、どのような観察や測定が必要かを考え、表現する力を発揮しました。

〔生命を柱とする〕＝よくできていた問題＝

ヘチマの花粉を顕微鏡で観察する際に、適切な像にするための操作を選ぶ問題では、全国平均を大きく上回りました。この問題では、顕微鏡の操作方法を理解し、実際の観察に必要な技能が身につけているかが問われました。児童が、観察の手順や道具の扱い方をしっかり理解し、理科的な視点で考える力を身につけていることがわかります。

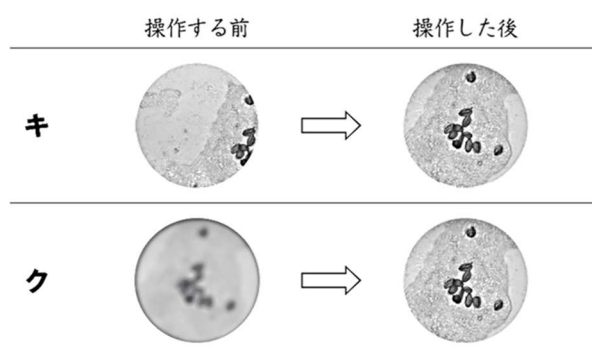
〔生命を柱とする〕＝正答率の低かった問題＝

この問題では、レタスの種子の発芽の結果から、「てるみさん」の気づきをもとに、新たな疑問や問題を見いだして表現する力が求められました。単なる知識の確認ではなく、観察結果の差異や共通点に着目し、自分の言葉で問いを立てるといふ、より高次の思考が必要な場面でした。本校の児童は、観察や実験を通して「気づく力」は育ってきていますが、そこから問いを言語化する力には、まだ伸びしろがあることがわかりました。

〔地球を柱とする〕特に、赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いをもとに、別の条件での結果を予想する問題では、本校の正答率は全国を大きく上回りました。この問題では、【結果】や【まとめ】をもとに、中くらいの粒の赤玉土に水がしみ込む時間を予想し、その理由を説明する力が求められました。

問題番号 [3] の (2)

(2) けんび鏡を操作したとき、キとクのように、操作する前と後で見え方が変化しました。キとクはどのような操作をしたのか、下の1から4の中からそれぞれ1つ選んで、その番号を書きましょう。



- 1 対物レンズをちがう倍率のものにした
- 2 プレパラートを動かした
- 3 明るさを調節した
- 4 調節ねじを回した

【正答】キ-2、ク-4

問題番号 [3] (4)



レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。

たかひろ

水、空気、温度のほかに、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の〈条件〉の中から1つ選んで調べてみたい。



てるみ

たかひろさんが行った実験



〈条件〉

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

(4) てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

【解答例】レタスの種子が発芽するのに、日光は必要なのだろうか。

授業改善のポイント

- ◆単なる知識の習得ではなく、「結果→考察→予想」という「結果から考える」流れを意識した授業構成を継続することで、思考のさらなる定着を図ります。
- ◆自分の考えを言葉で表現するとともに、図や表を使った説明、友だちとの対話による再構築など、言語化の幅を広げる活動を取り入れることでより深い理解へとつなげていきます。
- ◆授業の中で「なぜそうなるのか」「どうしてその結果になるのか」といった探究的な問いを意識的に取り入れることで、児童の思考の幅と深さを広げていきます。

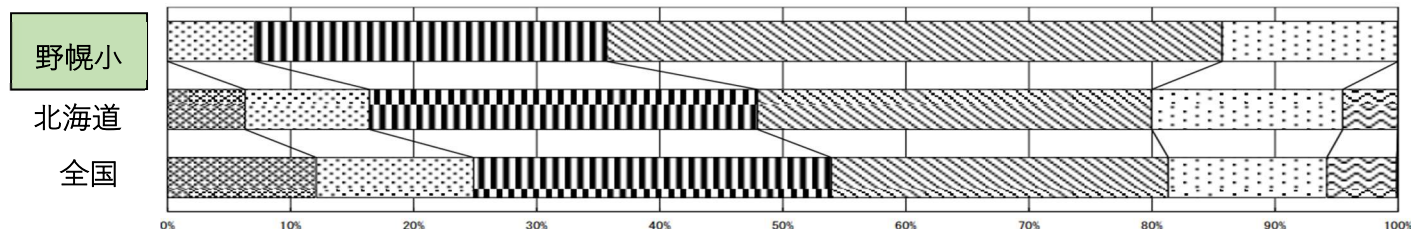
[児童質問紙]

本校の児童は、生活習慣や人との関わり、自然や地域への関心において、全国平均を大きく上回る姿を見せています。「毎朝、朝食を食べる」、「困っている人を助ける」、「いじめは絶対にいけない」など、「している」「どちらかとしている」と肯定的な回答をしました。

また、「人の役にたつ人間になりたい」という思いや、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」といった地域社会への関心も全員が持っており、心の育ちがしっかりと根づいていることがうかがえました。そして、「これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがあった」については「よくしていた」「ときどきしていた」という肯定的な回答でした。

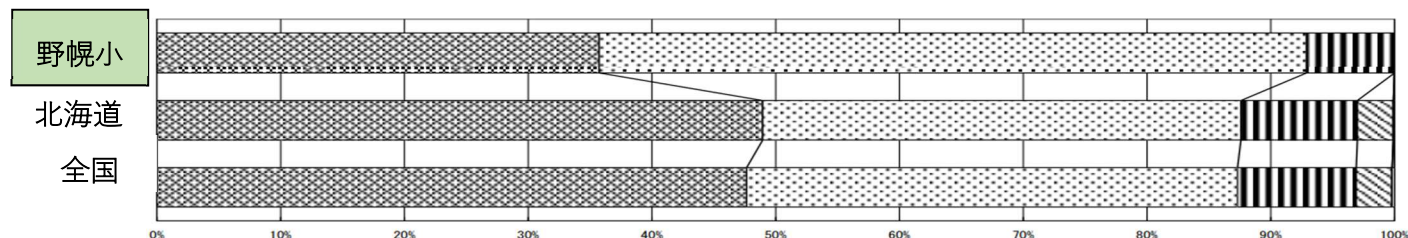
(質問 17) 学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日にどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）回答 1～3（2 時間以上の学習）

□1. 3 時間以上 □2. 2 時間以上、3 時間より少ない □3. 1 時間以上、2 時間より少ない □4. 30 分以上、1 時間より少ない □5. 30 分より少ない □6. 全くしない ■ その他 □無回答



(質問 38) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



※家庭学習は、学力だけでなく「自分で考え、やり抜く力」を育てる大切な時間です。目安は（学年×10分+10分）6年生であれば1日70分。時間を決めて取り組むことで習慣化しやすくなります。まずは短時間から始め、終わったら「できたね」と声をかけることで、子どもの意欲が高まります。学校での学びを家庭でつなぐことで、理解が深まり、自信にもつながります。ご家庭での温かな見守りと励ましが、子どもの学びを支える力になります。